

12/24 19:25

中小下請け 価格転嫁率46.9%

中小企業庁は二百、中小の下請け企業の価格転嫁に関する調査結果を公表した。コスト上昇分に対し、価格に転嫁できた割合は46.9%だった。

■ 1万5000社が回答 ■

調査では、下請け企業の直近六カ月のコスト増加分に対し、発注元企業がどれだけ価格転嫁に応じたかを尋ねた。コスト増加分の「七〇割」を転嫁できた企業が18.2%と最も多く、価格転嫁が全くできていない企業は20.2%に上った。

転嫁率の費用別の内訳では、原材料費が48.1%と比較的進んだが、労務費は32.9%、エネルギーコストは29.9%と低い水準だった。

調査は九月十一月に実施し、アンケートを配布した中小の下請け企業十五万社のうち約一万五千社が回答。以前の調査で価格転嫁が進んでいないと答えていた企業など約千八百社への聞き取りも行った。

「全くできていない」は20.2%